

## 平成25年度 文化芸術活動に関するアンケート調査 集計結果報告

## ■ 実施結果概要

文化芸術振興基本計画に、日頃、文化芸術活動を行っている市民の声を反映させるため、アンケート調査を実施しました。

対 象	大和市文化芸術連合会登録団体
実施期間	平成25年 9月21日(土)～10月7日(月)
回答数	アンケート依頼件数：64件 回答件数(回答率)：62件(97%)
内 容	団体の活動状況、活動上の課題や工夫など

## ■ 集計結果

## ○発表会・展示会等の開催頻度について

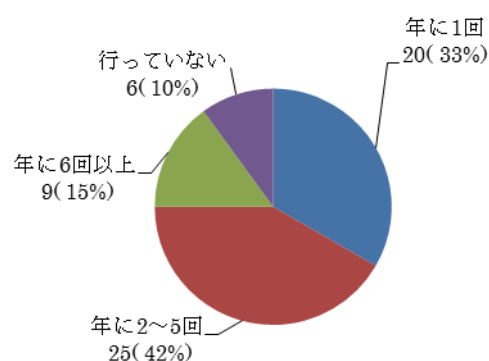
「年に1回」、「年に2～5回」と回答した団体は全体の75%

- 発表会・展示会等の開催頻度は、「年に1回」、「年に2～5回」と回答した団体が全体の75%を占めました。また、年に6回以上実施している団体が9団体もあり、活発な活動が行われていることが分かりました。

貴団体では、団体として行う成果の発表会や展示会等をどのくらい実施していますか。  
(1つ選択)

開催頻度	回答数	比率
年に1回	20	33%
年に2～5回	25	42%
年に6回以上	9	15%
行っていない	6	10%
総計	60	100%

(無回答を除く)



## ○活動内容・事業内容の情報発信について

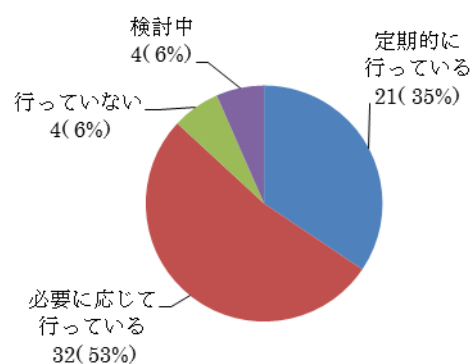
「定期的に行っている」、「必要に応じて行っている」と回答した団体は全体の88%

- 活動内容・事業内容の情報発信については、「定期的に行っている」、「必要に応じて行っている」と回答した団体が全体の88%と、ほとんどの団体が、市民の皆さんに対して自らの活動をPRしていることがわかりました。

貴団体では、団体の情報（活動内容、事業内容）を、市民の皆さんにPRしていますか。  
(1つ選択)

情報発信	回答数	比率
定期的に行っている	21	35%
必要に応じて行っている	32	53%
行っていない	4	6%
検討中	4	6%
総計	61	100%

(無回答を除く)



### ○活動内容・事業内容の情報発信手法について

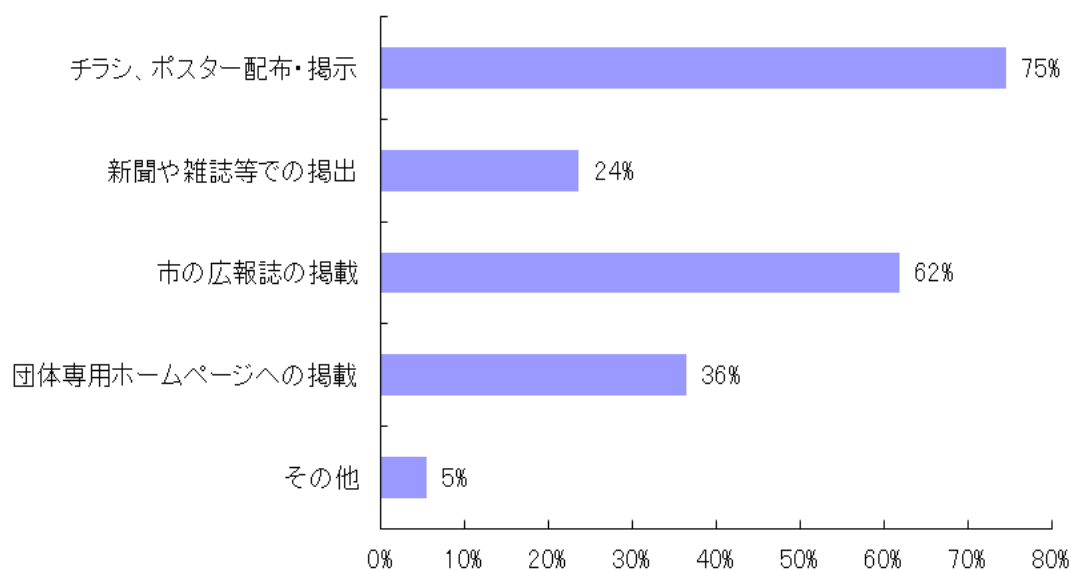
「チラシ・ポスター等の配布・掲示」、「市の広報誌の掲載」が上位

- ・活動内容・事業内容の情報発信を行っているとは回答した53団体を対象に情報発信の手法についてうかがいました。
- ・活動内容・事業内容の情報発信の手法については、「チラシ・ポスター等の配布・掲示」が、41団体（75%）で最も多く、次いで「市の広報誌の掲載」が34団体（62%）となっており、この2つが他を大きく引き離しています。
- ・その他の手法としては、「リピーター顧客に対して案内状を送付」、「FMやまとへの出演」といったものが挙げられました。

「定期的に行っている」、「必要に応じて行っている」と答えた方におたずねします。

団体のPRはどのような方法で行っていますか。（いくつでも）

- 1 チラシ・ポスター等の配布・掲示
- 2 新聞や雑誌等での掲出
- 3 市の広報誌の掲載
- 4 ホームページへの掲載
- 5 その他



## ○団体専用ホームページの保有について

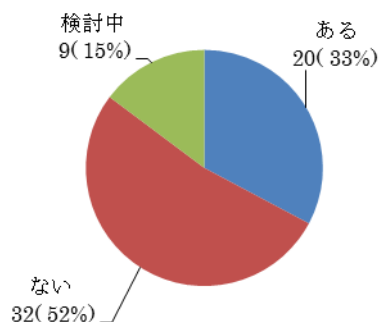
団体専用のホームページを持っている団体は33%

- ・団体専用のホームページを持っている団体は33%となっています。「検討中」の団体を加えても半数以下という結果となっており、インターネットを活用して情報発信を行っている団体は少ないことが分かりました。

貴団体は、団体専用のホームページをお持ちですか。(1つ選択)

ホームページの有無	回答数	比率
ある	20	33%
ない	32	52%
検討中	9	15%
総計	61	100%

(無回答を除く)



## ○他ジャンルの文化芸術団体との交流について

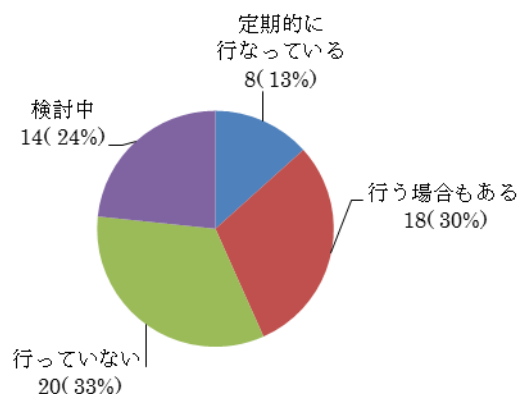
「定期的に行っている」、「行う場合もある」と回答した団体は43%

- ・他ジャンルの文化芸術団体との交流については、「定期的に行っている」、「行う場合もある」と回答した26団体(43%)が、現在他ジャンルの文化芸術団体との交流事業・活動を行っていることが分かりました。
- ・また、14団体(24%)が他ジャンルの文化芸術団体との交流事業・活動を検討しており、今後、こうした活動はますます活発化していく傾向がみられます。

貴団体では、他ジャンルの文化芸術団体との交流(コラボレーションを含む)を目的とした事業や活動を行っていますか。(1つ選択)

団体交流	回答数	比率
定期的に行っている	8	13%
行う場合もある	18	30%
行っていない	20	33%
検討中	14	24%
総計	60	100%

(無回答を除く)



## ○活動上の課題について（全体集計）

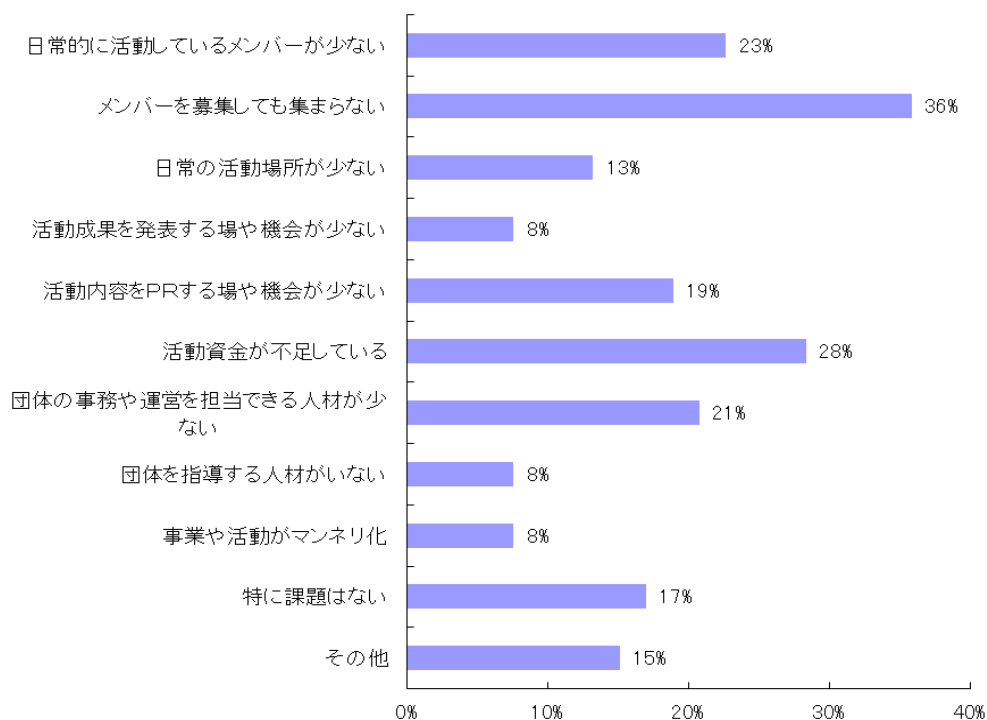
「メンバーを募集しても集まらない」、「活動資金が不足している」、  
「日常的に活動しているメンバーが少ない」が上位

- ・活動上の課題は、「メンバーを募集しても集まらない」、が、回答のあった53団体のうち19団体（36%）と最も多く、15団体（28%）が「活動資金が不足している」、12団体（23%）が「日常的に活動しているメンバーが少ない」、11団体（21%）が「団体の事務や運営を担当できる人材が少ない」、ことをあげています。
- ・その他の意見としては、「構成員の高齢化」、「活動場所が狭い」、「団体保有物品の保管場所がない」などの回答が寄せられました。

活動する上で課題を感じていることは何ですか。（3つまで選択）

- 1 日常的に活動しているメンバーが少ない
- 2 メンバーを募集しても集まらない
- 3 日常の活動場所が少ない
- 4 活動成果を発表する場や機会が少ない
- 5 活動内容をPRする場や機会が少ない
- 6 活動資金が不足している
- 7 団体の事務や運営を担当できる人材が少ない
- 8 団体を指導できる人材がいない
- 9 事業や活動がマンネリ化している
- 10 特に課題はない
- 11 その他

### <活動上の課題（全体集計）>



（無回答を除く）

## ○活動上の課題について（部門別集計）

上記の設問を舞台部門の団体、展示部門の団体、民間の文化施設がどの項目を選んでいるかを探るため、部門別に分けて集計を行いました。

- ・演劇、音楽、舞踊などの舞台部門の団体では、回答のあった23団体のうち10団体が、「メンバーを募集しても集まらない」ことを、活動を続けていくうえでの課題であると答えています。
- ・次いで、「活動資金が不足している」（8団体）、「活動内容をPRする場や機会が少ない」（7団体）、「団体の事務や運営を担当できる人材が少ない」（6団体）といった項目が続いています。
- ・文芸、美術、写真などの展示部門の団体では、回答のあった21団体のうち7団体が、「メンバーを募集しても集まらない」ことを感じており、次いで、「日常的に活動しているメンバーが少ない」（6団体）ことを課題としてあげています。
- ・「メンバーを募集しても集まらない」は、展示部門の団体と舞台部門の団体共に最も高い割合となっており、今後、市民の文化芸術活動をより活発にしていくためには、「活動人材の確保」に向けた支援が必要であることが分かりました。
- ・舞台部門と展示部門の団体の意見の中で違いが顕著なのは、「活動内容をPRする場や機会が少ない」（舞台部門30% / 展示部門14%）と「活動資金が不足している」（舞台部門35% / 展示部門19%）という項目であり、それぞれ舞台部門の団体では、上位の高い割合であり、展示部門とは16ポイントの違いがみられます。
- ・民間のホール、ギャラリー等を運営している団体では、回答のあった7団体のうち4団体が「特に課題がない」（57%）と答えていますが、一方、課題があると回答した3団体が「活動資金が不足している」（43%）ことを、活動を続けていくうえでの課題であると答えています。

### <活動上の課題（部門別集計）>

活動上の課題	舞台部門 (演劇・音楽・舞踊 等23団体)		展示部門 (文芸・美術・写真 等21団体)		民間ホール・ ギャラリー等 (7団体)	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
日常的に活動しているメンバーが少ない	4	17%	6	29%	1	14%
メンバーを募集しても集まらない	10	43%	7	33%	1	14%
日常の活動場所が少ない	4	17%	2	10%	0	0%
活動成果を発表する場や機会が少ない	1	4%	3	14%	0	0%
活動内容をPRする場や機会が少ない	7	30%	3	14%	0	0%
活動資金が不足している	8	35%	4	19%	3	43%
団体の事務や運営を担当できる人材が少ない	6	26%	4	19%	0	0%
団体を指導できる人材がない	1	4%	2	10%	0	0%
事業や活動がマンネリ化している	2	9%	1	5%	1	14%
特に課題はない	1	4%	4	19%	4	57%
その他	3	13%	3	14%	1	14%
総計	47	—	39	—	11	—

(無回答を除く)

## ○活動上の工夫について

次の項目において、貴団体が活動を行う中で工夫されていることがありましたら、その内容をご記入ください。（自由記述）

- 1 メンバー確保のための工夫
- 2 活動や発表の場の確保の工夫
- 3 活動内容PRの工夫
- 4 活動運営上（活動資金、団体運営者の確保）の工夫

### < 1 メンバー確保のための工夫 >

「市広報」（6件）、「インターネット」（4件）、「タウン誌」（2件）、「チラシ」（2件）といった情報媒体を活用しているといった回答のほか、「発表会場での募集」（9件）、「メンバーが勧誘」（9件）、「クチコミ」（4件）、「構成員と入会希望者との交流会を実施し募集」（3件）といった構成員の日常的な活動や発表の場を捉えて、メンバーの確保を行っているという回答が寄せられました。

### < 2 活動や発表の場の確保の工夫 >

「施設の利用抽選に参加（市内施設の利用）」（8件）、「文化イベント、展示会への参加」（5件）、「民間施設や市外施設の利用」などの意見が寄せられました。

### < 3 活動内容PRの工夫 >

「市広報」（8件）、「ポスター、チラシ」（5件）や「案内はがき」（5件）の作成のほか「ホームページ」（3件）、「フェイスブック」（2件）、「ブログ」の活用、「案内メール」（2件）、「クチコミ」、「FMやまと」、「他市へのPR」などの回答がありました。

### < 4 活動運営上（活動資金、団体運営者の確保）の工夫 >

活動経費面の工夫としては、「助成金の申請」（2件）、「民間企業や商店からの協賛金」（2件）、「会員から負担金の徴収」（2件）、「活動経費の削減努力」などの内容が寄せられました。また、運営面については、「事務・運営に長けた方の起用」（3件）、「有望者の情報を収集」（2件）、「幹部構成員の育成」などの意見が寄せられました。

## ○文化芸術の振興について

文化芸術の振興に関して、ご意見がありましたら自由にお書きください。

38件の意見が寄せられました。その内容を大別すると次のとおりです。

### <団体のPRについて>

[主な意見]

- ・市が団体の活動をPRしてくれて助かっている。
- ・構成員募集や団体活動をPRできるよう支援がほしい。
- ・他の団体の活動内容を紹介した会報誌を出してほしい。

### <活動への助成・活動の場の確保について>

[主な意見]

- ・展示会を開催するにあたり、市より補助金の援助が受けられるとよい。(2件)
- ・生涯学習センターなど市内施設利用料を減免してほしい。(2件)
- ・行政には資金面等の側面支援を期待したい。
- ・日常の教室運営や会場確保に行政の協力が必要。
- ・市民が気軽に集える施設が少ない。

### <芸術文化ホールについて>

[主な意見]

- ・芸術文化ホールの建設に期待している。(3件)
- ・活動の発表の場がほしい。(2件)
- ・施設内容の充実を望む。
- ・使用料の減免を検討してもらいたい。
- ・大規模なイベントを誘致できるような会場にしてほしい。
- ・団体の物品を保管できるようにしてほしい。

### <その他>

[主な意見]

- ・文化芸術に力を入れていただき感謝している。(3件)
- ・「文化の薫りのするまち」にするには、市民から意見や提案をもらうことが重要。(2件)
- ・「文化芸術向上」をテーマにした講演会を開催してほしい。
- ・文化祭の一般公募展は上級者の展示傾向が強いため、技量に関係なく参加ができるような雰囲気公募展にしてほしい。
- ・文化振興には行政の理解と各団体の協力が必要不可欠。
- ・大和市を音楽のまちにしていきたい。
- ・日本の伝統文化を大事にしていくことが重要。